

令和6年度 茶道部の指導方針等について

令和6年5月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名	
主顧問	千鳥 友美子
副顧問	吉野 多佳子

外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
目黒 トシ子		月4回

2 年間目標

- (1) 茶道を通して日本文化の基礎を学び、次世代につなげていく契機とする。
- (2) 宗徧流の茶道のお点前を学び、茶道の極意を身に付ける。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量
練習は週に1日とし、練習時間は2時間を基本とする。自分の稽古だけでなく、他人の稽古の見学も集中して行う。
- (2) 基本的な生活習慣や規範意識の健全育成
挨拶、正しい言葉遣い、礼儀作法など他の生徒の模範となるよう心がける。
- (3) 生徒相互の人間関係
日本の伝統文化を学ぶことで「和」の心を養う。お互いの稽古を見ることで、それぞれを尊重する姿勢を養う。日頃の準備や清掃を通して協調性や責任感を涵養する。
- (4) 学習と部活動
学習と部活動の両立をする。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
顧問、外部指導員、生徒、保護者で体罰禁止について共通理解をはかる。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部活内での問題は、生徒同士で暴言、暴力などで解決することのないように、日頃の指導を徹底する。
- (3) 事故防止・安全配慮
熱湯を扱うため、取り扱いには十分注意させる。また、飲食を伴う活動であるため、お茶碗の管理など衛生面には十分気を付ける。

5 活動の手順

- (1) 昼休みに、和室を掃除しお湯を沸かしておく。
- (2) 自分の稽古の順番になったら、袱紗をつけ、お稽古に臨む。
- (3) 自分の順番が終わったら、部員の稽古の様子をよく観察する。
- (4) 外部指導員に、現在の課題を確認する。
- (5) 全員で協力して片付けをする。
- (6) 顧問、外部指導員、部員全員でミーティングをする。